

とちぎ創生15戦略（第2期）の目標値の見直しについて

令和6（2024）年4月22日 総合政策課

1 概要

- とちぎ創生15戦略（第2期）の着実な推進を図るため、15の戦略の取組ごとに重要業績評価指標（KPI）を設定し、毎年、進捗状況を把握することとしている。
- 昨年12月、15戦略の計画期間を1年延長するとともに、KPIの目標値の見直しなどを行ったが、一部KPIについては、目標値設定の根拠とする個別施策計画の策定作業が進められていることから、計画策定後に見直しを行うこととした。
- 昨年度末に個別計画が策定されたことから、以下のKPIについて目標値の見直しを行う。

2 見直しを行うKPI（案）

No.	戦略	指標名	基準値	直近実績値	目標値	
					現行	見直し後 [※]
1	戦略14	訪問看護事業所の訪問看護職員数 （65歳以上人口10万人対）	H30(2018) 95人	R4(2022) 151人	R6(2024) 130人	R7(2025) 166人

※15戦略の計画期間延長を踏まえ、目標年次を変更するとともに、個別施策計画で設定した数値目標に基づき、目標値を設定。

3 適用時期

見直し後の目標値は、今年度から適用する。

○ 成果指標・重要業績評価指標（KPI）一覧

令和6(2024)年4月

基本目標/戦略		成果指標/KPI	現状値	目標値	出典	目標値の考え方
基本目標1 とちぎに魅力あるしごとをつくる		◆ 県民所得（県民1人当たり）	2016年 全国3位	2023年 全国3位以上	内閣府「県民経済計算」	現状値以上を目指す
戦略1 ものづくり県の更なる発展と次世代産業の創出		1 製造品出荷額等	2017年 9兆2,333億円	2024年 9兆3,714億円	総務省・経済産業省「経済構造実態調査」	2021年の実績値(8兆5,761億円)から年3%増加させる
		2 創業支援等事業計画による創業者数(累計)	2018年 347人	2024年 525人	中小企業庁「産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画による支援実績」	現状値から年25人増加させる
		3 商業・サービス事業者の経営革新計画承認件数	2014-2018年累計 110件	2021-2025年累計 140件	栃木県産業労働観光部集計	現状値から30件増加させる
戦略2 成長産業へ進化する農業の確立		4 園芸産出額	2018年 963億円	2024年 1,230億円	農林水産省「生産農業所得統計」	2030年1,300億円を目指す
		5 青年新規就農者数	2015-2019年累計 1,287人	2021-2025年累計 1,600人	栃木県農政部集計	現状値から20%以上増加させる
		6 いちご生産者1戸当たりの販売額	2018年 1,354万円	2024年 1,531万円	栃木県農政部集計	いちご産出額の年2%の増加・生産者戸数の維持
戦略3 林業・木材産業の成長産業化		7 林業産出額	2018年 107.1億円	2024年 135.0億円	農林水産省「林業産出額」	現状値から25%以上増加させる
		8 製材品出荷量(国産材)	2018年 26.1万m ³	2025年 35.0万m ³	農林水産省「木材統計調査」	現状値から30%以上増加させる
		9 林業新規就業者数	2014-18年累計 220人	2021-2025年累計 260人	栃木県「新規林業就業者に関する調査」	現状値から15%以上増加させる
戦略4 戦略的な観光誘客		10 観光消費額	2018年 6,297億円	2025年 7,087億円	観光庁「共通基準による観光入込客統計」	2019年の実績値(7,054億円)から0.5%増加させる
		11 観光客宿泊数	2018年 827万人	2025年 863万人	栃木県「観光客入込数・宿泊数推定調査」	2019年の実績値(826万人)から4%増加させる
戦略5 海外から選ばれるとちぎの創生		12 外国人宿泊数	2018年 22.3万人	2025年 27.4万人	栃木県「観光客入込数・宿泊数推定調査」	2019年の実績値(24.7万人)から11%増加させる
		13 農産物輸出額	2018年 3.69億円	2025年 10億円	栃木県農政部集計	2025年10億円を目指す
基本目標2 とちぎへの新しいひとの流れをつくる		◆ 都道府県間人口移動数(日本人)	2019年 ▲3,518人	2025年 ▲1,759人	総務省「住民基本台帳人口移動報告」	人口ビジョン：現状値から半減を目指す
戦略6 地域を支える若者の育成と定着促進		14 県内大学・短大への進学率割合	2018年 28.0%	2025年 上昇を目指す	文部科学省「学校基本統計」	—
		15 県内大学生・短大生の県内就職率	2018年 45.3%	2025年 50.0%	栃木県総合政策部集計	就職者の半数を目指す
		16 地域と連携協働した学習を実施している県立高校の数	2019年 37校	2025年 68校(全県立高校)	栃木県教育委員会集計	全県立高校の実施を目指す
戦略7 立地環境を生かした企業誘致の推進		17 企業立地件数	2014-2018年累計 185件	2021-2025年累計 190件	経済産業省「工場立地動向調査」	現状値から5件増加させる
戦略8 とちぎへのひとの流れの創出		18 県及び市町で受けた移住相談件数	2018年 4,465件	2025年 9,000件	総務省「移住・定住に関する調査」	現状値から年650件増加させる
		19 とちぎUターン就職促進協定締結校における本県への年間就職者数	2018年 1,033人	2025年 1,250人	栃木県産業労働観光部集計	現状値から20%以上増加させる
基本目標3 とちぎで結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる		◆ 合計特殊出生率	2018年 1.44	2025年 1.59	厚生労働省「人口動態統計」	人口ビジョン：2035年1.90を目指す
戦略9 結婚支援の充実		20 婚姻率(人口千人対)	2018年 4.3	2025年 上昇を目指す	厚生労働省「人口動態統計」	—
		21 とちぎ結婚支援センターの会員数(累計)	2019年 3,538人	2025年 8,510人	とちぎ結婚支援センター集計	現状値から年830人増加させる
戦略10 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援		22 妊娠・出産について満足している者の割合	2018年 87.6%	2025年 93.0%	厚生労働省「母子保健課調査」	現状値から年1%増加させる
		23 保育所等待機児童数(10月1日時点)	2019年 169人	2025年 0人	厚生労働省「保健所等関連状況取りまとめ」	待機児童数ゼロを目指す
		24 放課後児童クラブ待機児童数	2019年 65人	2025年 0人	厚生労働省「放課後児童健全育成事業実施状況」	待機児童数ゼロを目指す
		25 子ども家庭総合支援拠点設置市町数	2019年 2市町	2025年 25市町	栃木県保健福祉部集計	全市町での設置を目指す
戦略11 多様な人材が活躍できる環境づくり		26 総労働時間	2019年 1,706時間	2025年 1,675時間	栃木県「毎月勤労統計調査」	現状値から年5時間低減させる
		27 男性の育児休業取得率	2018年 8.9%	2024年 45.0%	栃木県「労働環境等調査」	2025年50%を目指す
		28 女性の就業率(15~64歳)	2018年 31.6%	2025年 40.0%	栃木県産業労働観光部集計	2.5人に1人以上の就業を目指す
		29 高齢者の就業率(65歳以上)	2018年 2.9%	2024年 6.5%	栃木県産業労働観光部集計	現状値から2倍以上増加させる
		30 障害者の雇用率	2019年 2.07%	2025年 2.60%	厚生労働省「障害者の雇用状況について」	法定雇用率(2.5%)を2024年に達成し、さらに上昇させる
基本目標4 とちぎに安心で住み続けたい地域をつくる		◆ 住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う県民の割合	2019年 76.0%	2025年 上昇を目指す	栃木県「栃木県政世論調査」	—
戦略12 暮らしやすいとちぎの「まち」づくり		31 小さな拠点等取組件数(累計)	2018年 14件	2025年 45件	栃木県総合政策部集計	現状値から3倍以上増加させる
		32 鉄道・バス等の利用者数	2017年 23.6万人	2024年 24.6万人	栃木県国土整備部集計	2022年の公共交通の利用状況や芳賀・宇都宮LRT開業による利用者数の増加を加味し設定
戦略13 健康長寿とちぎづくりの推進		33 健康寿命	2016年 男性72.12年 女性75.73年	2022年 男性72.97年 女性76.48年	厚生労働省公表	2040年までに男女とも3年以上延伸し75歳以上を目指す
		34 特定健康診査実施率	2017年 51.4%	2023年 70.0%	厚生労働省「特定健康診査・特定健康指導の実施状況」	2023年70%以上を目指す
戦略14 地域包括ケアシステムの推進		35 介護予防につながる通いの場への高齢者の参加率	2018年 6.0%	2025年 8.0%	厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況に関する調査」	現状値から2.0%増加させる
		36 訪問看護事業所の訪問看護職員数(65歳以上人口10万人対)	2018年 95人	2025年 166人	栃木県「訪問看護ステーション基礎調査」から算出	訪問看護サービス見込み量から算出
横断的目標 未来技術をとちぎの新たな力にする		◆ 未来技術活用による地域課題の改善・解決事例数	—	2021-2025年累計 10件	栃木県総合政策部集計	国の数値目標を参考に算出
戦略15 未来技術を活用したとちぎづくり		37 未来技術を活用し地域課題の解決・改善に取り組む市町数	2019年 7市町	2025年 25市町	栃木県総合政策部集計	全市町での取組を目指す
		38 ITパスポート試験合格者数	2019年 536人	2025年 1,600人	栃木県総合政策部集計	2020年からの3年間の伸び率(1.9倍)と同程度の伸び率を目指す